



いづみ 泉 ゆみ 議員

漬物づくり  
味噌づくりの季節  
今年も頑張るぞ！

問

# 義務教育の目指すところは

教育長

## 二極化解消と地域・家庭との連携

### 学力テストの 分析と課題

**問** 全国学力・学習状況調査の結果分析と本町の子どものための課題は。  
**教育長** 思考・判断・表現の学力の育成が十分とは言えない状況で、特に「書くこと」の領域に課題がある。

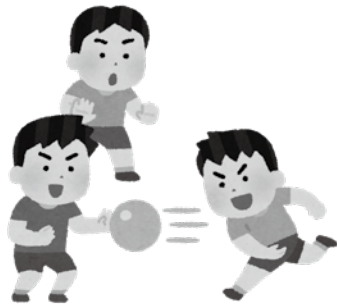
**問** 学力向上のために町独自で取り組んでいることはあるか。  
**教育長** 小中学校学力向上連絡会議で家庭学習の質を高める方針を示し、児童生徒が自分の力で意欲的・主体的に学習を進めるために、各学校では丁寧なノ-

トづくりや授業と関連した家庭学習と一人一台端末による家庭学習の工夫・改善に取り組んでいる。

### 検定に補助金を

**問** 英語検定、漢字検定、数学検定の集団受検に町で補助をする考えは。  
**教育長** 生徒たちのスキルアップのためには、検定を受けることも必要であり、実態やニーズを把握しながら調査研究したい。

**問** 町営塾の可能性があるか。  
**教育長** 小中学生向けの公営塾は実態としてはあまりなく、大事なのは規則正しい生活習慣や規範意識を高めることだと考えており、現時点では学習に特化した町営の塾は考えていない。



### 町営塾の可能性は

**問** 町営塾のように町の学力のフォローに携わり、学びの場を用意する考えはないか。  
**教育長** 小中学生向けの公営塾は実態としてはあまりなく、大事な

は規則正しい生活習慣や規範意識を高めることだと考えており、現時点では学習に特化した町営の塾は考えていない。

### 家庭との連携

**問** 体力向上の取り組みは。  
**教育長** 各学校で体力向上プランを作成し、体育的行事や授業などで計画的に取り組んでいる。

**問** 学力・体力向上のため、家庭との連携を今後どのように推進していくか。  
**教育長** 子どもたちの傾向や課題の理解促進を図るとともに、家庭学習の定着、学習習慣や運動習慣・生活習慣の改善・充実に向けて、学校・家庭・地域とより一層連携を図りながら取り組んでいく。

**問** 中学校の通級指導教室は珍しいが、設置のきっかけと経緯は。  
**教育長** 保護者の強い希望があり、令和4年度

からオホーツク管内の中学校としては2校目の通級指導教室を開設し、現在14名が在籍している。

### 義務教育の今後

**問** 学習面・体力面の課題をふまえて、義務教育の目指すところと今後の取り組みについての考えは。  
**教育長** 学力、体力ともに二極化しており、児童生徒をどう引き上げていくかが課題である。学校だけでなく、家庭や地域と連携しながら推進していく。

**問** 中学校の通級指導教室は珍しいが、設置のきっかけと経緯は。  
**教育長** 保護者の強い希望があり、令和4年度



泉議員の一般質問を視聴できます